

# 只見で学んだことを生かします

## 只見町山村教育留学生第5期生送別会

2月26日、奥会津学習センターで只見町山村教育留学生第5期生送別会が行われました。今年は7人が旅立ちました。

目黒吉久町長はあいさつで「中学を卒業すると同時に家族と離れた寮生活、不慣れた生活が思ったと思います。いろいろな事を乗り越えて今日を迎えられたと思います。3年間の経験は、進学や就職へと進むそれぞれの道で役に立つと思います」と述べました。

7人の留学生はあいさつで、



目黒町長のあいさつを聞く留学生



一人ひとりが三年間を振り返った

「雪国は初めてでしたが、皆が支えてくれて助かりました」、「運動部の活動をしながらだったので、辛いときもあったが、乗り越えられました。ここで寮生活を送れてよかったです」、「只見で学んだことをこれから生かして頑張っていきます」など、それぞれが三年間を振り返りました。

留学生一人ひとりに目黒町長が記念品を贈り、激励しました。送別会には町から目黒町長、佐藤克彦教育長が、只見高校から鈴木健司校長、高梨洋史教頭、馬場三次PTA会長、矢沢明伸雪椿会長が出席。寮を運営する鈴木慎介ゆいネット只見理事長も出席し別れを惜しみました。

## 56人が新たな歩みへ — 只見高校卒業式 —



卒業証書を受ける渡部さん

3月1日、平成20年度第45回卒業証書授与式が只見高校体育館でおこなわれ、鈴木健司只見高等学校長から、卒業生代表の渡部友理さんに56人の卒業証書が手渡されました。

鈴木学校長は式辞で「新しい時代に向けてたゆまぬ努力をしてほしい。堂々とした人生を歩まれることを祈念します」と述べました。

目黒吉久只見町長は「ふるさと只見の空気、水、人を忘れずに、新しい世界でがんばってほしい」と祝辞を述べました。

在校生代表送辞で、五十嵐春喜さんは「先輩達のガッツを見習ってがんばっていきます。卒業生の皆さんもがんばってください」と激励しました。卒業生代表答辞で、馬場まどかさんは「これから少しずつ自立していきたいと思います。自分の人生を一步一步、歩いていきます」と述べました。